



2013 年 環境報告書

Nasu Material Corporation Environmental Report



那須マテリアル株式会社

NASU-MATERIAL

<http://www.nasu-material.co.jp>

報告書対象期間 2012年 4月 1日 ～ 2013年 3月31日

報告書対象組織 那須マテリアル株式会社

本社工場（栃木県大田原市）

東北事業所（福島県西郷村）

目 次

1. 会社概要（グループ会社履歴・組織体制・グループ会社一覧）	2
2. 工場施設及び設備の概要	3
3. 環境方針	4
4. EMSの取り組み-（1）	5
EMSの取り組み-（2）	6-7
5. 教育訓練	8
6. 産業廃棄物の再資源化取り組み事例	9
7. 太陽光発電事業の開始	10
8. ドライブレコーダーの導入	11
9. 地域社会への取り組みその他の環境活動	11

1. 会社概要

会社概要

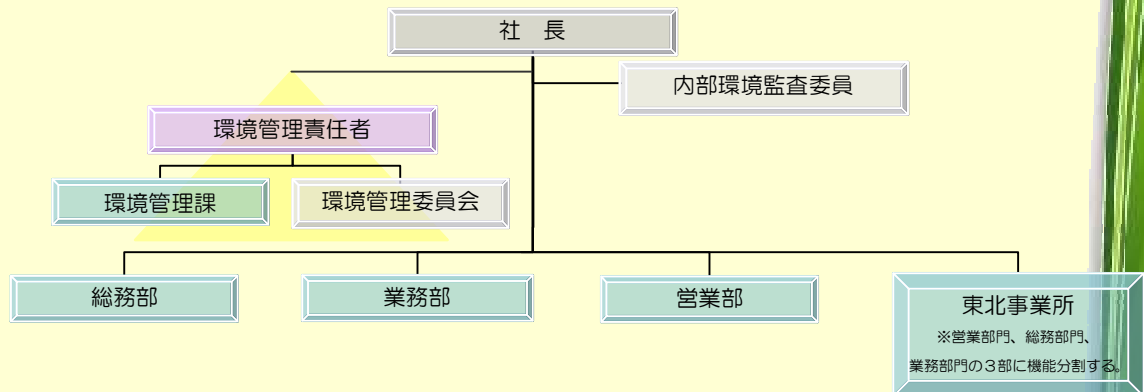
社 名 那須マテリアル株式会社
 創設年月日 平成 9年 9月 9日
 操業開始日 平成12年 4月 1日
 本 社 栃木県大田原市北金丸2122
 東北事業所 福島県西白河郡西郷村大字小田倉大平175-5

資 本 金 56,000,000円(平成25年3月現在)
 役 員 代表取締役 星 彰 治
 取 締 役 星 豪 紀
 取 締 役 星 祐 見 子
 監 査 役 高 梨 友 子

グループ会社履歴

- | | | | |
|----------|--|----------|---|
| 1997年 9月 | 那須マテリアル株式会社を設立 | 12月 | 宇都宮市産業廃棄物収集運搬業許可を更新 |
| 2000年 3月 | 栃木県産業廃棄物収集運搬業許可を取得
栃木県産業廃棄物処分業許可を取得 | 2008年 1月 | エヌズホールディングス株式会社を設立 |
| 2002年11月 | 福島県産業廃棄物収集運搬業許可を取得 | 5月 | 秋田マテリアル株式会社、秋田県産業廃棄物処分業許可を取得 |
| 12月 | 宇都宮市産業廃棄物収集運搬業許可を取得 | 12月 | 郡山市産業廃棄物収集運搬業許可を取得 |
| 2003年 6月 | 星 彰 治が代表取締役に就任する | 2009年 4月 | 那須マテリアル株式会社東北事業所増築工事完了 |
| 2004年 1月 | 那須マテリアル株式会社本社 ISO14001の認証を取得 | 2010年 3月 | 栃木県産業廃棄物収集運搬業許可を更新
栃木県産業廃棄物処分業許可を更新 |
| 2005年 3月 | 栃木県産業廃棄物収集運搬業許可を更新
栃木県産業廃棄物処分業許可を更新 | 7月 | ISO27001 更新審査合格 |
| 2006年 4月 | 福島県にシリコンの選別・検査・加工の施設として
東北事業所を開設する | 9月 | 茨城県産業廃棄物収集運搬業許可を取得 |
| 9月 | 一般労働者派遣業許可を取得 | 11月 | ISO14001 更新審査合格 |
| 10月 | 群馬県産業廃棄物収集運搬業許可を取得
東北事業所を追加登録 | 2011年 9月 | 栃木県において「優良産廃処理業社認定制度」に
適合認定（処分業・収集運搬業） |
| 2007年 8月 | 那須マテリアル株式会社本社・東北事業所
ISO27001の認証を取得 | 11月 | 群馬県産業廃棄物収集運搬業許可を更新。
群馬県において「優良産廃処理業社認定制度」に
適合認定 |
| 9月 | 秋田マテリアル株式会社を設立 | 2012年 1月 | 福島県において「優良産廃処理業社認定制度」に
適合認定 |
| 10月 | ISO14001更新審査合格 | 2013年 2月 | 太陽光発電設備（第一期）での売電を開始 |
| 11月 | 福島県産業廃棄物収集運搬業許可を更新 | | |

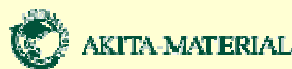
組織体制



環境関連グループ会社一覧



エヌズホールディングス株式会社
 本社/〒961-8061 福島県西白河郡西郷村大字小田倉大平 175-5
 T E L. 0248-48-0099
 大田原支店/〒324-0011 栃木県大田原市北金丸2122
 T E L. 0287-20-2660



秋田マテリアル株式会社
 〒018-00402 秋田県にかほ市平沢字深谷地 16-8
 T E L. 0184-74-5277

2. 工場施設及び設備の概要

(1) 本社工場

所在地 栃木県大田原市北金丸 2122

敷地面積 33,510 m²

- 業務内容 ●0A 機器・金融機器・家電等の電子機器類等の手解体・選別により、鉄・非鉄、貴金属・ガラス・プラスチック・紙回収によるリサイクル化
 ●シリコンスクラップの売買及びソーラーグレードシリコンインゴットの売買
 ●環境業務全般に係わる派遣事業及びこれらに伴う教育
 ●建設資機材・環境機器のレンタル事業

保有設備 本社所有

名称	数量
破碎機	1
粉碎機	1
被覆電線処理装置	1
発泡スチロール減容再生機	1
フォークリフト	2

名称	数量
ローリフト	1
トラックスケール	1
プリンター付デジタル計量器	1
2tトラック	2
4tトラック	1

保有設備 本社レンタル品

名称	数量
3.8m敷鉄板	150枚
三脚付光波プリズム	3
バックホウ油圧ショベル	2



本社工場

(2) 東北事業所

所在地 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字大平 175-5

敷地面積 2,940 m²

- 業務内容 ●鉄・非鉄、貴金属・プラスチック・紙回収によるリサイクル化
 ●シリコンスクラップの売買及び検査加工業務、並びにソーラーグレードシリコンインゴットの売買

保有設備 東北事業所所有

名称	数量
70t圧縮機	1
フォークリフト	2
プリンター付デジタル計量器	1
シリコン自動選別機	1



東北事業所

3. 環境方針

当社は、廃棄物を国際資源と捉え、手解体、手選別という手法により、再資源化・有効利用していく「循環型社会の構築」という夢に貢献して参ります。

当社は、産業廃棄物処分及び収集運搬事業、シリコンスクラップの再生利用事業、太陽光発電業務、太陽光関連機械器具販売という環境保全に関わる事業を展開していること、また、再資源化事業者として、2011年3月11日発生の「東日本大震災」の復興に、素材の再資源化事業を通して付与して行く事を踏まえ、以下の方針に基づき環境管理を行います。

1. 当社は、当社の事業活動に伴って発生する環境影響等を認識し、環境負荷の低減に向け、環境マネジメントシステムの継続的改善及び汚染の予防に努めます。
2. 当社は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等、当社の環境側面に関係して適用可能な法的要求事項及び当社が同意するその他要項を遵守することはもちろん、経済面・スタッフ・技術面において可能な限り更なる自主規制を設けます。
3. 当社の立地する大田原市金田地区は、ザゼン草の群生地や白鳥の飛来する羽田沼、また 2006年4月開設した東北事業所の立地する福島県西郷地区は、日光国立公園「さわやか高原公園都市」と紹介され、大河川、「阿武隈川」の源流や、隣の白河市には、日本最古の「南湖公園」が存在するという恵まれた自然環境であることを踏まえ、当社の事業活動における環境負荷抑制のための最重要課題として以下の項目を設定します。
 - (1) 太陽光発電業務における電力の供給
 - (2) 電力及び軽油の消費削減、及びCO2排出量の削減
 - (3) 収集運搬作業中の破損及び落下等の事故の予防
 - (4) 再生入荷物及びリサイクル品の取扱数量の増加による資源・素材の再利用及び再生利用の促進
4. これらの環境目的を従事する従業員に周知・認識させ、更に個々の視点からの発想も積極的に取り入れていき、「実行」の仕組みを確立し、「点検」・「見直し」の機会を設けていく。
5. この環境方針は当社で働く又は当社に委託されて働く全ての人に周知するほか、社外の利害関係者に公表致します。

作成：2004年 6月18日

改定：2013年 3月31日



那須マテリアル株式会社
代表取締役 星 彰 治

4. EMSの取り組み(1)

環境目的・目標一覧(全社分)

区分	環境目的	著しい環境側面	基準値	運用開始 9年度目	
				2012年(H.24)度目標 期間：2012年4月～ 2013年3月	目標の使用量、 排出量等
1. 省エネ・ 省資源対策	1. 電力使用量の削減①(100V)	本社の照明・事務機器・業務部関連設備、東北事業所関連の照明・事務機器・業務部門関連の施設設備等の稼働に伴う電力の消費	H21年度想定実績値： 74,170kwh (本社H18年度実績値+ 東北H21年度想定値)	■基準値比 本社6.4% 東北5.0% 削減	69,710kwh
	2. 電力使用量の削減②(200V)	東北事業所の業務部門関連設備(プレス機他)稼働に伴う電力の消費 ※本社は該当しない	H21年度想定実績値： 6,747kwh	■基準値比3.0%削減	6,545kwh
	3. 軽油使用量の削減	本社業務部の車輛(トラック)用燃料の消費、東北事業所業務部門で使用する車輛(トラック)用燃料の消費	H21.22年度燃費実績： 平均値：6.14km/L	■基準値比 本社2.5% 東北2.0% 増加	6.28km/L
	4. 作業資材の消費削減	業務部関連の作業資材の消費 ※基準は手袋の消費数	H23年度消費量 2,005双	■基準値比1.0%削減	1,985双
	5. 水道水使用量の削減	東北事業所で使用している水道水の消費	H23年度消費量 174m ³	■基準値比1.0%削減	172m ³
2. 廃棄物等 排出対策	1. 車輛からの排気ガスの削減①	営業用自家用車使用に伴う排気ガスの排出	データ無し	■CO2排出削減目標に置きかえる	
	2. 車輛からの排気ガスの削減②	上記3.に関わる車輛(トラック)使用に伴う排気ガスの排出	データ無し	■CO2排出削減目標に置きかえる	
	3. CO2の排出削減	電力及び軽油の使用に伴うCO2の排出	H22年度実績値： 51,985kg	■基準値比 本社2.0% 東北1.0% 削減	51,176kg
3. 施設・設備・ 作業関連の 緊急時対策	1. フォークリフト関連の予防保全	敷地外への転落事故、建物・人身等への接触事故、荷積み・荷下ろし時の荷物の落下事故、積雪時に横転・接触事故、油圧ホース等からの油の漏洩	H.17~19年度実績： 左記緊急事態発生 1件	■事故発生 0件	
	2. 業務用トラック関連の予防保全	・待機中の騒音 ・油漏れ、騒音、荷物の落下、荷物の飛散、人身・物損事故	H.17~19年度実績： 左記緊急事態発生 1件(荷物の落下)	■事故発生 0件	
	3. 収集運搬作業関連の予防保全	・解体排出作業中の破損事故 ・トラック捕縛作業中の落下事故 ・トラックの過積載運送、運搬中の荷物の落下事故	H.17~19年度実績： 左記緊急事態発生 1件(荷物の落下)	■事故発生 0件	
4. その他環境に 有益な項目	1. 再生入荷物・リサイクル品の取扱量の増加による資源・素材の再利用及び再生利用の促進 ※H18年度実績値：本社再生品の実績値(鉄、アルミ、ステンレス、プラスチック、雑品、シリコンの合計)		H.18年度実績： 1,113,058Kg	■基準値比10.0%増加	1,224,358kg
	2. 会社周辺のクリーン活動		H21年度実績 1回	■目標実施回数	2回
	3. 社員によるペットボトル・ダンボール類の回収		H22,24年度回収実績 PB 100kg 段ボール 414.3kg	■目標：基準値比 5%増加	PB:87.675kg DB247.25kg

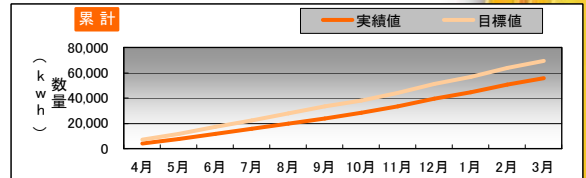
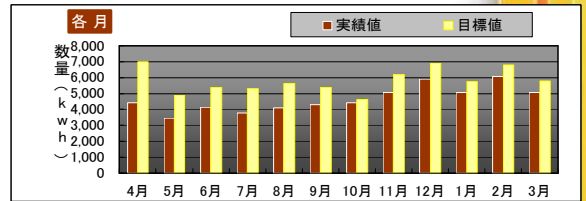
環境影響評価により、新たに「作業資材の消費の削減」と「水道使用量の削減」が追加登録されましたが、関連する各部門にて配慮しながら削減に取り組むことができ、達成することができました。「軽油使用量の削減」においては、対象車輛全車にドライブレコーダーを導入し、エコ運転管理を行い、目標達成することができました。

4. EMSの取り組み- (2)

環境監視実績データ一覧(全社分その1)

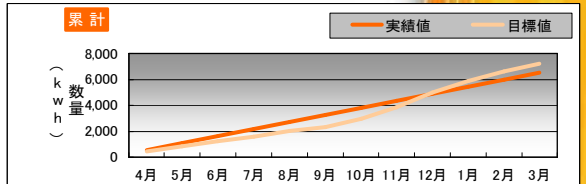
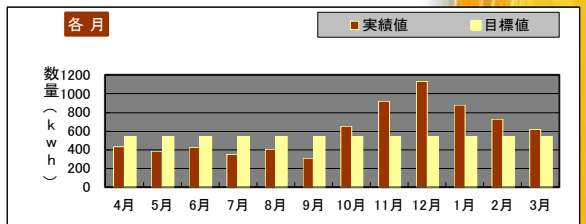
■電力使用量100V

監視データ1		電力使用量 100V (kwh)				H24年度 目標値	基準値 本社6.4%東北5.0% 削減 目標使用量 : 69,711 kwh		
月	21年度 想定 実績値	各月 目標・実績				累計 目標実績			
		H24年度	H24年度	対目標値	評価	H24年度	H24年度	対目標値	評価
		目標(a)	実績(b)	(a/b)		目標累計値(c)	実績累計値(d)	(c/d)	
4月	7,472	7,017	4,430	158.4%	○	7,017	4,430	158.4%	○
5月	5,207	4,897	3,441	142.3%	○	11,914	7,871	151.4%	○
6月	5,740	5,396	4,127	130.7%	○	17,311	11,998	144.3%	○
7月	5,632	5,295	3,763	140.7%	○	22,606	15,761	143.4%	○
8月	5,989	5,629	4,084	137.8%	○	28,235	19,846	142.3%	○
9月	5,716	5,374	4,320	124.4%	○	33,609	24,165	139.1%	○
10月	4,902	4,612	4,403	104.7%	○	38,221	28,568	133.8%	○
11月	6,592	6,194	5,060	122.4%	○	44,416	33,628	132.1%	○
12月	7,372	6,924	5,903	117.3%	○	51,340	39,531	129.9%	○
1月	6,124	5,756	5,062	113.7%	○	57,096	44,593	128.0%	○
2月	7,256	6,815	6,066	112.3%	○	63,911	50,659	126.2%	○
3月	6,172	5,800	5,044	115.0%	○	69,711	55,703	125.1%	○
	74,170	69,711	55,703	125.1%	○				



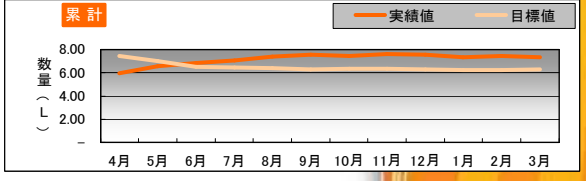
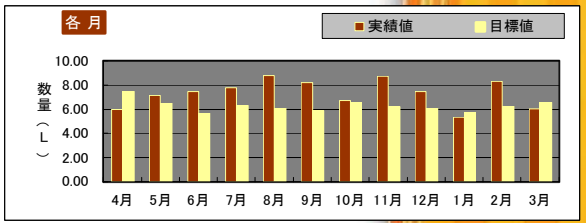
■電力使用量200V

監視データ2		電力使用量 200V (kwh)				H24年度 目標値	基準値 3%削減 目標使用量 : 6,545 kwh		
月	H21年度 想定 実績値	各月 目標・実績				累計 目標実績			
		H24年度	H24年度	対目標値	評価	H24年度	H24年度	対目標値	評価
		目標(a)	実績(b)	(a/b)		目標累計値(c)	実績累計値(d)	(c/d)	
4月	562	545	433	126.0%	○	545	433	126.0%	○
5月	562	545	386	141.3%	○	1,091	819	133.2%	○
6月	562	545	425	128.3%	○	1,636	1,244	131.5%	○
7月	562	545	349	156.3%	○	2,182	1,593	136.9%	○
8月	562	545	408	133.7%	○	2,727	2,001	136.3%	○
9月	562	545	308	177.1%	○	3,272	2,309	141.7%	○
10月	562	545	653	83.5%	×	3,818	2,962	128.9%	○
11月	562	545	918	59.4%	×	4,363	3,880	112.5%	○
12月	562	545	1135	48.1%	×	4,909	5,015	97.9%	×
1月	562	545	877	62.2%	×	5,454	5,892	92.6%	×
2月	562	545	726	75.1%	×	5,999	6,618	90.7%	×
3月	562	545	616	88.5%	×	6,545	7,234	90.5%	×
	6,747	6,545	7,234	90.5%	×				



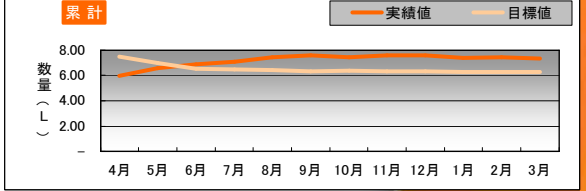
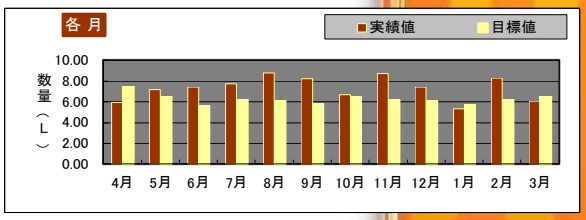
■軽油燃費量

監視データ3		燃費量 (km/L)				H24年度 目標値	基準値 本社2.5%東北2.0% 増加 目標値 : 6.28 km/L		
月	H21年度 想定 実績値	各月 目標・実績				累計 目標実績			
		H24年度	H24年度	対目標値	評価	H24年度	H24年度	対目標値	評価
		目標(a)	実績(b)	(a/b)		目標累計値(c)	実績累計値(d)	(c/d)	
4月	7.31	7.47	5.96	80%	×	7.47	5.96	79.8%	×
5月	6.36	6.50	7.16	110%	○	6.99	6.56	93.9%	×
6月	5.50	5.63	7.45	132%	○	6.53	6.86	104.9%	○
7月	6.16	6.29	7.76	123%	○	6.47	7.08	109.4%	○
8月	5.97	6.10	8.00	144%	○	6.40	7.43	116.1%	○
9月	5.74	5.87	8.22	140%	○	6.31	7.56	119.8%	○
10月	6.40	6.54	6.70	102%	○	6.34	7.44	117.2%	○
11月	6.08	6.21	8.72	140%	○	6.33	7.60	120.1%	○
12月	5.98	6.11	7.46	122%	○	6.30	7.58	120.3%	○
1月	5.65	5.78	5.33	92%	×	6.25	7.36	117.7%	○
2月	6.11	6.25	8.29	133%	○	6.25	7.44	119.1%	○
3月	6.43	6.57	6.04	92%	×	6.28	7.32	116.7%	○
	6.14	6.28	7.32	117%	○				



■水道使用量

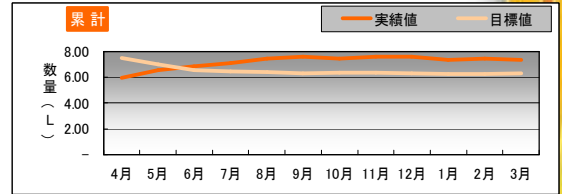
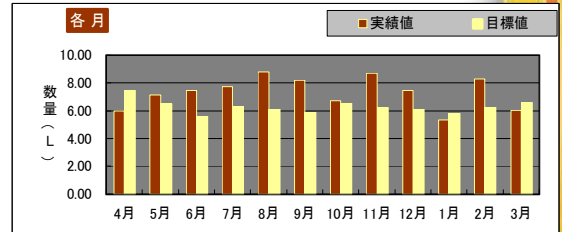
監視データ4		使用量 (L)				H24年度 目標値	基準値 1% 目標値 : 172㎡		
月	H23年度 実績値	各月 目標・実績				累計 目標実績			
		H24年度	H24年度	対目標値	評価	H24年度	H24年度	対目標値	評価
		目標(a)	実績(b)	(a/b)		目標累計値(c)	実績累計値(d)	(c/d)	
4月	24.00	25.74	29.00	88.8%	×	25.74	29.00	88.8%	×
5月	26.00	25.74	30.00	85.8%	×	51.48	59.00	87.3%	×
6月									
7月	33.00	32.67	28.00	116.7%	○	84.15	87.00	96.7%	×
8月									
9月	34.00	33.66	25.00	134.6%	○	117.81	112.00	105.2%	○
10月									
11月	25.00	24.75	23.00	107.6%	○	142.56	135.00	105.6%	○
12月									
1月	32.00	31.68	25.00	126.7%	○	174.24	160.00	108.9%	○
2月									
3月									
	174.00	174.24	160.00	108.9%	○				



環境監視実績データ一覧(全社分その2)

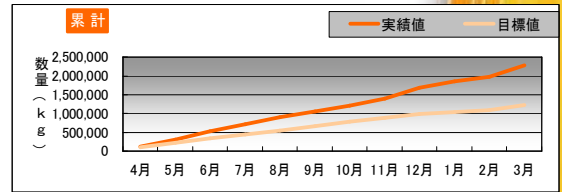
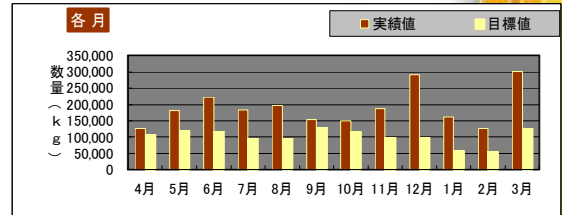
■作業資材の消費

監視データ5		消費量(双)				H24年度 目標値	基準値 1%削減 目標値 : 1985 双		
月	H23年度 想定 実績値	各月 目標・実績				累計 目標実績			
		H24年度 目標(a)	H24年度 実績(b)	対目標値 (a/b)	評価	H24年度 目標累計値(c)	H24年度 実績累計値(d)	対目標値 (c/d)	評価
		4月	355	351	329	107%	○	351	329
5月	255	252	165	153%	○	604	494	122.3%	○
6月	25	25	149	17%	×	629	314	200.3%	○
7月	87	86	54	159%	○	715	203	352.2%	○
8月	155	153	245	62%	×	868	448	193.8%	○
9月	297	294	172	171%	○	1,162	620	187.4%	○
10月	76	75	161	47%	×	1,238	781	158.5%	○
11月	107	106	223	48%	×	1,343	1,004	133.8%	○
12月	209	207	24	863%	○	1,550	1,028	150.8%	○
1月	127	126	80	158%	○	1,676	1,108	151.3%	○
2月	164	162	146	111%	○	1,838	1,254	146.6%	○
3月	148	147	92	160%	○	1,985	1,346	147.5%	○
	2,005	1,984	1,840	107.8%	○				



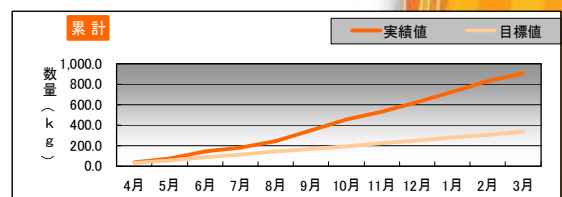
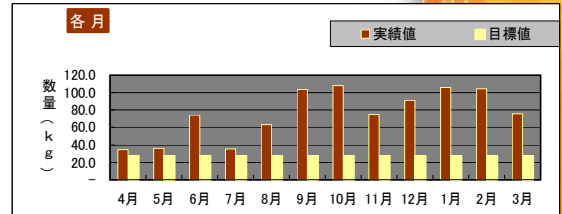
■再生入荷物・リサイクル品の取扱の増加

監視データ6		再生入荷物・リサイクル品の 取扱の増加(kg)				H22年度 目標値	基準値 9%増加 目標取扱量 : 1,224,359		
月	H18年度 実績値	各月 目標・実績				累計 目標実績			
		H24年度 目標(a)	H24年度 実績(b)	対目標値 (a/b)	評価	H24年度 目標累計値(c)	H24年度 実績累計値(d)	対目標値 (c/d)	評価
		4月	98,010	107,911	127,496	118.1%	○	107,911	127,496
5月	109,955	120,950	181,093	149.7%	○	228,861	308,589	134.8%	○
6月	108,531	119,384	222,563	186.4%	○	348,245	531,152	152.5%	○
7月	87,509	96,259	183,885	191.0%	○	444,504	715,037	160.9%	○
8月	87,797	96,576	197,957	205.0%	○	541,080	912,994	168.7%	○
9月	117,449	129,197	153,597	118.9%	○	670,277	1,066,591	159.1%	○
10月	106,543	117,197	150,038	128.0%	○	787,474	1,216,629	154.5%	○
11月	90,485	99,533	187,274	188.2%	○	887,007	1,403,903	158.3%	○
12月	89,132	98,045	290,647	296.4%	○	985,052	1,694,550	172.0%	○
1月	52,163	57,379	162,377	283.0%	○	1,042,431	1,856,927	178.1%	○
2月	51,023	56,125	125,873	224.3%	○	1,098,556	1,982,800	180.5%	○
3月	114,461	125,907	302,047	239.9%	○	1,224,463	2,284,847	186.6%	○
	1,113,058	1,224,463	2,284,847	186.6%	○				



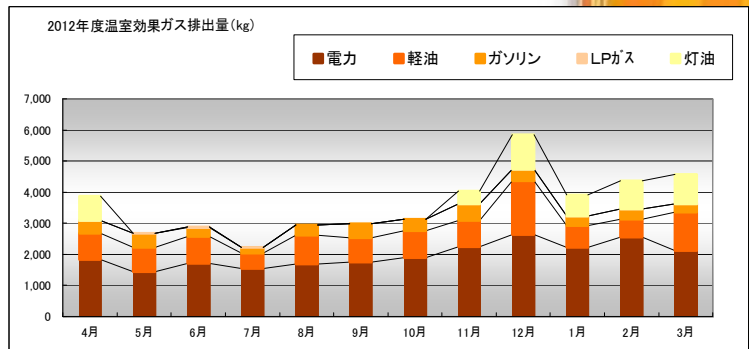
■社員によるPB・ダンボール類の回収

監視データ7		社員によるPB・ダンボール類の回収(単位:kg)				H23年度 目標値	基準値比 5%増加 目標値 : 335 kg		
月	H22,23年 実績値	各月 目標・実績				累計 目標実績			
		H24年度 目標(a)	H24年度 実績(b)	対目標値 (a/b)	評価	H24年度 目標累計値(c)	H24年度 実績累計値(d)	対目標値 (c/d)	評価
		4月	2.01	27.9	34.5	123.7%	○	27.9	34.5
5月	2.01	27.9	36.5	130.8%	○	55.8	71.0	127.2%	○
6月	2.01	27.9	74.0	265.2%	○	83.7	145.0	173.2%	○
7月	2.01	27.9	35.5	127.2%	○	111.6	180.5	161.7%	○
8月	28.10	27.9	63.5	227.6%	○	139.5	244.0	174.9%	○
9月	39.60	27.9	103.5	371.0%	○	167.4	347.5	207.6%	○
10月	16.00	27.9	108.0	387.1%	○	195.3	455.5	233.2%	○
11月	36.00	27.9	75.3	269.9%	○	223.2	530.8	237.8%	○
12月	6.00	27.9	91.0	326.2%	○	251.1	621.8	247.6%	○
1月	19.21	27.9	105.5	378.1%	○	279.0	727.3	260.7%	○
2月	31.71	27.9	104.5	374.6%	○	306.9	831.8	271.0%	○
3月	43.71	27.9	76.0	272.4%	○	334.8	907.8	271.1%	○
	228.37	334.80	908	271.1%	○				



■2012年度温室効果ガス排出量(全社)

	CO2排出量(kg)					合計
	電力	軽油	ガソリン	LPガス	灯油	
4月	1,824	856	399	10	782	3,871
5月	1,435	777	464	5	0	2,681
6月	1,707	853	306	4	0	2,870
7月	1,542	495	176	1	0	2,214
8月	1,685	918	346	1	0	2,950
9月	1,736	795	452	0	0	2,983
10月	1,896	854	380	1	0	3,131
11月	2,242	854	524	7	396	4,023
12月	2,639	1,731	357	11	1,121	5,859
1月	2,227	692	311	8	672	3,910
2月	2,547	575	336	8	899	4,365
3月	2,122	1,239	255	8	951	4,575
合計	23,602	10,639	4,306	64	4,821	43,432



今年度も、概ね目標を達成することができましたが、電力 200v が未達成でした。
目標値が頭打ちとなってきた可能性もあり、新たな指標を検討して参ります。

5. 教育訓練

2012年度教育訓練計画（全社分）

主管：環境管理課

教育名	教育の内容	対象者	頻度	実施期間	主管部門・機関
1. 一般教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ EMS概要、地球環境保全、 ・ 環境マネジメント活動全般 (方針、目的目標、EMP等含む) 	本社及び東北事業所の一般従業員全員	1回	7・8月	環境管理課
2. 特定教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業による顕在的又は潜在的な環境影響 ・ 手順書に従わなかった場合の環境影響 ・ 環境関連法規等 ・ その他著しい環境側面に関する知識 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総務課関連手順書教育 (省エネ管理手順書他) 適用者：全員 	1回	7・8月	部門責任者
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務部関連手順書教育 (省エネ管理手順書他) 適用者：全員 	1回	7・8月	部門責任者
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 東北事業所関連手順書教育 (省エネ管理手順書他) 適用者：全員 	1回	7・8月	環境管理課 推進責任者
3. 専門教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会(更新・新規) 	該当なし	—	—	指定会場
4. 内部監査員教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境監査員養成講座 (環境管理責任者主催コース) 	内部監査員候補者	1回	10・11月	外部専門機関
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境監査リーダー（主任監査員）教育 	主任監査員に昇格し、初めて監査リーダーを務める者 該当なし	1回	10月	外部専門機関
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境監査員ブラッシュアップ教育 	認定済監査員 (監査の前の訓練)	1回	11月	外部専門機関
5. 緊急事態対応訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・ わが社が特定している緊急事態 ・ 緊急事態発生時での対応及び処置 ・ 緊急事態の実際の訓練 	緊急事態が想定される業務に従事している従業員（本社および東北）	1回	10月	部門責任者 推進リーダー
		会社全体に関わる緊急事態（火災や大地震想定）：全従業員	1回	防災訓練 12月	環境管理課 推進責任者



毎年部門別または全社分の教育訓練計画に基づき、環境一般教育、特定教育、内部監査員教育等を実施し、すべての従業員に、環境活動の取り組みへの理解や環境意識の向上をはかっております。
教育効果をより向上させるため、少人数グループを形成して実施しております。



当社では、環境に影響を与える事故を想定し、毎年1回緊急事態対応訓練や、防災訓練を実施しております。対応手順に基づき、対応テストや、救急時の備品類の整備を実施しております。



6. 産業廃棄物の再資源化取り組み事例

排出事業者より処理委託を受けた産業廃棄物を極めて細やかに手解体・手選別することにより、鉄・非鉄・貴金属・ガラス・プラスチック等のリサイクル化を行っております。

また、排出事業者からのご要望がございましたら、リサイクル報告書、廃棄証明書、廃棄（解体）写真の提出、または搬入時に担当者の現場立会い等により、廃棄物の適正処理状況の確認をして頂いております。

ハードディスクの再資源化の場合



破碎機



投入の様子



破碎の様子

破碎後の様子



製錬所にて、
焙燃、粉碎、篩別

金・銀・滓、スラグ原料

リサイクル処理報告書、
廃棄証明書の作成

SAMPLE

品名	数量	備考	処理状況
ハードディスク	1000台		破碎
ハードディスク	500台		破碎
ハードディスク	200台		破碎
ハードディスク	100台		破碎
ハードディスク	50台		破碎
ハードディスク	20台		破碎
ハードディスク	10台		破碎
ハードディスク	5台		破碎
ハードディスク	2台		破碎
ハードディスク	1台		破碎

7. 太陽光発電事業の開始

当社は、ソーラー用のウェーハやインゴットの原材料として再生利用している有価物及び、産業廃棄物のリサイクルを行っています。長年に亘り太陽電池産業に関わり、培ってきた知的財産を効果的に活かせると判断し、太陽光発電事業（第一期）を2013年2月より開始致しました。



～当社太陽光発電所（第一期分）の概要について～

本社に隣接した遊休地を利用し、太陽光パネルとパワーコンディショナーを設置しました。

最大出力は、約617.1kWを予定しており、一般家庭約200世帯に相当する発電を行います。

第一期目に続き、2013年度に第二期目の発電を開始致します。

これにより、年間約300kg、CO2の排出が抑制されることとなります。

最大出力	617.10kw
推定発電量	629.089kwh
敷地面積	約1ha
パネル枚数	2,805枚
運転開始日	2013年2月26日

～自社ブランドのモジュール製造販売～

今日までの事業で得た、ウェーハメーカーとのつながり、太陽光発電関連の技術とノウハウを活かして、自社ブランド

「NASU-MATERIAL」の太陽光発電モジュールの製造販売を開始。証明書とライセンスをドイツ・テュフラインランド社から取得しました。



8. ドライブレコーダー導入によるエコ運転管理

当社では、今期より、すべての車輌に『無事故プログラムDR』を導入しました。

各車輌へドライブレコーダーを搭載し、運転情報を携帯電話通信網でアプリケーションサーバーに送信しています。アプリケーションでは、危険運転やエコ運転に関連する挙動の頻度を集計し、レーダーチャート化できますので、安全運転やエコ運転の評価に活用しやすい情報が得られるようになりました。また、車輌運転中のヒヤリ・ハットが可視化され、事故がおこる前に、リスク要因を効果的に分析、改善することもできるようになりました。

『動態管理システム』では、GPS機能により、定期的に車輌の位置情報を収集し、車輌を管理することも可能となりました。それらの情報を基に、今後も各ドライバーへ安全運転・エコ運転の意識付けをして参ります。



9. 地域社会への取り組み（クリーン活動）

本社および東北事業所の工場周辺を当社の従業員が一定期間毎にクリーン活動を実施しております。



本社工場周辺のクリーン活動の様子

最後に

那須マテリアル株式会社は、事業活動およびこの環境報告書の情報開示を通じ、地球社会・顧客・お取引先様とコミュニケーションを計るとともに、信頼確保に今後とも努めて参ります。

2013年 5月

那須マテリアル株式会社

代表取締役

星 彰三